

Ticket Guide

チケットぴあにて、8月10日10時より販売開始!

8月中に買えばお得!



●販売期限:各回上映開始時まで [Pコード:554-203]

【チケット料金表】 ※全席指定席	早割券(8月10日10時~31日10時まで)			9月券(9月1日10時~)		
	一般	高大生	小中生/障がい者 キャンパスメンバーズ	一般	高大生	小中生/障がい者 キャンパスメンバーズ
PFFアワード2024/はじまりの映画	800円	600円	600円	1,000円	700円	600円
【招待作品部門】(上記を除く)	1,300円	600円	600円	1,500円	700円	600円

※国立映画アーカイブ公式チケットサイトの電子チケット販売はありません。
 ※学生、国立美術館のキャンパスメンバーズ、障害者手帳をお持ちの方は、ホール入場時に証明できるものをご提示ください。
 ご提示のない方は入場できません。(障がい者の付添者は原則1名まで障がい者と同料金)

【購入方法】

チケットぴあ ① インターネットで購入 【座席選択:できる】

会場では発券できません。
 セブン-イレブンファミリーマートで発券の上、ご来場ください。

② セブン-イレブンで直接購入 【座席選択:できない】

店内のマルチコピー機よりご購入ください。

※チケットぴあでの発券手数料、システム手数料は0円です。※チケットの払戻、交換、再発行はできません。

当日会場窓口 ③ 会場窓口(1F受付)で購入 【座席選択:できない】

販売時間:各回上映開始の60分前~5分前まで

*12時以前に上映開始の回のみ11時から販売



国立映画アーカイブ
 National Film Archive of Japan
 〒100-0001 東京都中央区京橋3-7-6

会場アクセス ▶銀座線「京橋駅」1番出口より昭和通り方向へ徒歩1分▶浅草線「宝町駅」A4出口より中央通り方向へ徒歩1分▶有楽町線「銀座一丁目駅」7番出口より徒歩5分▶JR「東京駅」八重洲南口より徒歩10分

「初めてのPFF体験」を! 18歳以下の皆様を「PFFアワード2024」プログラムにご招待します!

お申し込みは公式サイト <https://pff.jp/46th/> から。(事前申込制・各回先着10名様)

「ぴあフィルムフェスティバル in 京都2024」開催決定!

11月9日(土)~17日(日)、京都文化博物館フィルムシアターにて開催。入選監督も多数来場予定!

【主催】 PFF 一般社団法人PFF 国立映画アーカイブ 公益財団法人 川喜多記念映画文化財団 UNI JAPAN 公益財団法人ユニジャパン

【オフィシャルパートナー】 ぴあ ホリプロ dentsu group Hakuodo DY media partners

【特別支援】 一般社団法人 日本映画製作者連盟

【オフィシャルTOPサポーター】 人を、想う力。街を、想う力。 三菱地所 U-NEXT

【オフィシャルサポーター】 一信用と創造一 住友不動産 セブン&アイ HLDGS.

【特別協賛】 朝日新聞 イマワ Imaging Works IIJ Internet Initiative Japan Tokyofm FM802 KLOCK WORK

世界にひとつ、あなたにひとつ。 SEGA Sammy 文化芸術財団 TACHIHI チビテレビ 東京テアトル TOKYO MX

TFC 東北新社 DOKUSO NIKKATSU SMBC 三井住友カード MUFG 三菱UFJニコス

【協賛】 R-factory きらぼし銀行 Congres CONCENT 佐藤工業 SPACE SHOWER TBS DISK GARAGE tv asahi

テレ東 KOGEI TOHAN TOHO アーカイブ TOPPAN JAPAN AIRLINES 0TEL NIPPON TV FASCINATE CO.,LTD

POOL inc. フジテレビジョン MOALA PONYCANYON INC. MOVIE WALKER PRESS 夜景検定 reciti

【賛助】 アテネ・フランセ文化事業(株) / (株)アンカット / (株)伊藤園 / (株)運動会屋 / エイベックス・ピクチャーズ(株) / KANDO(株) / ギャガ(株) / 京都芸術大学 舞台芸術研究センター / キングレコード(株) / タエストルーム(株) / (有)スタンス・カンパニー / チケットぴあ九州(株) / チケットぴあ名古屋(株) / (株)夏への扉 / (株)PIVOT / (有)フォルム / (有)プレス / (有)ヴォルターン / (株)マジックアワー / (株)みずほ銀行 / (株)MOON LIGHT / (株)ロボット

【後援】 特定非営利活動法人映像産業振興機構(VIPO) / 協同組合日本映画監督協会 CoFesta パートナーイベント

第46回 ぴあフィルムフェスティバル2024



2024 9.7日(土) → 9.21日(土)

国立映画アーカイブ National Film Archive of Japan

「第46回ぴあフィルムフェスティバル」で起きること

まず、飛び切りフレッシュな19本の自主映画「PFFアワード2024」で、いまを生きる映画の息吹を感じてください。そして、こうした「いま自主映画をつくるひとたち」のことを思いながら設計した招待作品もお楽しみください。今年、13日間で映画史を駆け抜けます！招待作品は6企画を展開します。8ミリフィルムで撮る自主映画熱が日本中を沸かしていた時代を体験する「自由だぜ!80~90年代自主映画」。

PFF Award 2024

【コンペティション部門】PFFアワード2024

映画監督を目指す若者たちの登竜門。今年は692本の応募作品の中から入選した、19作品をスクリーンで上映。

最終審査員

- 小田 香 フィルムメーカー/アーティスト
- 小林エリカ 作家/アーティスト
- 高崎卓馬 クリエイティブ・ディレクター/小説家
- 仲野太賀 俳優
- 吉田恵輔 映画監督 ※五十音順/敬称略

※入選監督の年齢、職業(学校名)は応募時のものです。

A PFF Award 2024 9.10 11:30~小ホール / 9.14 17:30~

『アイスリンク』 監督: 王 紫音 (23歳/清華大学美術学院) カラー/10分

摩訶不思議な中国式アニメーション

2人の若者がアイスリンクのオープンをお喋りしながら待っている。とめどなく溢れる不思議でオフビートな会話に、カラフルで奇天烈な動物や昆虫が乱れ飛ぶ、とても優しい白日夢。目にも眩しい大人の絵本。

『さよならピーチ』 監督: 遠藤愛海 (22歳/京都芸術大学 芸術学部 映画学科) カラー/124分

映画への愛が溢れる時…

ラストシーンがうまく演じられず悩む、主人公も。演技の参考に、サイレント映画を上映すると、劇中の女優が突然スクリーンから飛び出してくる…。つくり手の瑞々しい悩みや葛藤を、自主映画の世界線で描いた青春賛歌。

B PFF Award 2024 9.11 13:30~小ホール / 9.15 17:30~

『鎖』 監督: 杜 詩琪 (25歳/武蔵野美術大学大学院 映像・写真コース) カラー/21分

ミソジニー社会で乱舞してみた

男尊女卑が色濃く残る中国の地方都市に、日本から里帰りした監督自身が、同国の結婚、出産、同性愛の在り方を探る。慣習という“鎖”をパフォーマンスアートとアニメーションを駆使して描いた、切実で渾身の映像表現。

『さようならイカロス』 監督: 田辺洸成 (20歳/青山学院大学 総合文化政策学部) カラー/107分

神も仏も知ったこっちゃない世界へ

無気力な青年ケンが、同じく無気力な女性との出会いを通して、同性愛、性虐待、貧困、暴力、死という薄皮1枚向こうのリアルを垣間見る。監督の心の叫びが全編にこだまし、目を背けなくなる現実を否応なしに叩きつける問題作。

C PFF Award 2024 9.10 15:30~小ホール / 9.14 14:30~

『Into a Landscape』 監督: 山中千尋 (30歳/東京藝術大学大学院 映像研究科 アニメーション専攻) カラー/2分

色彩と形態のせめぎあい

水彩画タッチの魅力が凝縮された2分間の短編アニメーション。紙の上に創造された自然の美しさと圧倒的な力強さを畏敬の念を持って描き、抽象と具象を行き来していく。その麗しさが全編にわたって炸裂する曼荼羅。

『分離の予感』 監督: 何 英傑 (25歳/武蔵野美術大学 造形構想学部 映像学科) カラー/64分

芝居の中で芝居をする…という芝居

映画のオーディションで初めて顔を合わせた男女は、台本に従って演技を始める。虚構と現実、過去と未来が少しずつ混ざり合う様子を、コントラストの効いた画面構成と漂うカメラ演出で描き、洗練された作家性が溢れ出る。

『あなたの代わりにあなた展』 監督: 山田 遊 (28歳/劇団主宰) カラー/18分

珍妙な会話が織りなす恋物語

マッチングアプリの待ち合わせをすっぽかされた男と、美術館デートをすっぽかされた女。2人は仕方なく“代わりに”のデートを始めるが…。ミニマルな登場人物の遊戯のような会話劇で展開される、独特すぎる映画体験。

D PFF Award 2024 9.11 17:30~小ホール / 9.14 11:30~

『正しい家族の付き合い方』 監督: ひがし沙優 (14歳/中学生) カラー/17分

恐るべき中学生の自我大爆発!

酒浸りの父親と暮らす夢見る少女。彼女の思い描く理想の親子像はどこか歪。目の前の現実になす術も力もない少女は、それでも上を向く、そして外を向く…。最年少14歳の監督が描く、振り切ったテンションの一作。

『これらが全てFantasyだったあの頃。』 監督: 林 真子 (27歳/会社員) カラー/72分

“創作”という狂気と凶器と狂喜

役者の夢を追うえみ。引越し中に見つけた脚本によって記憶の扉が開かれ、次第に虚構と現実の境界が曖昧になっていく。何層にも重なる物語は複雑に交差しながらも、夢見る主人公たちを応援するかのよう爽やかに広がっていく。

この時代の監督たちの生まれる前に黄金期を迎えた映画会社「大映」の誇る新しすぎる才能の特集「生誕100年・増村保造新発見!」では、ちょっとレアな作品をスクリーン体験。その増村監督の生まれる前後、映画が「記録」から「物語」へと移行するファーストステップを「はじまりの映画」プログラムに詰め込みました。まるでタイムマシンのような映画祭になる本年です。恒例の「PFFスペシャル」も時代を飛び越え、新たな視点から映画を楽しめます。「緊急特集・中村靖日さんを偲んで」では4作品を上映します。もちろん、「PFFスカラシップ作品『道行き』お披露目上映」もご紹介します。配信やソフト化のないここだけの上映が満ちた映画「祭」には、ゲスト来場も溢れます。最新情報は、公式サイトにてご確認を。しばし日常を離れ、ときめきの時間をお過ごしください。

DOKUSO 国立映画アーカイブでのスクリーン上映に加え、二つのプラットフォームでもオンライン配信! 配信期間:9月7日 12:00~10月31日 日

「観客賞」にネット投票可能 U-NEXT 「U-NEXTポイント」で視聴可

E PFF Award 2024 9. 8 14:30~ / 9.13 17:00~小ホール

『ちあきの変拍子』 監督: 白岩周也、福留莉玖 (18歳、17歳/米子工業高等専門学校 放送部) カラー/31分

イマジナリーフレンドと決別したい!

自分を抑えて生きる女子高生・千秋と、彼女が創り出した春貴という人格。必死の我慢を邪魔されることに我慢ができなくなった彼女は、ついに“彼”を消し去ろうとするが…。カタルシスと喪失感と希望が背中合わせのスリリングな青い春の叫び。

『I AM NOT INVISIBLE』 監督: 川島佑喜 (21歳/武蔵野美術大学 造形構想学部 映像学科) カラー/24分

“名もなき街”での自分探しの記録

“心が疲れた”監督が自身のルーツに迫るセルフドキュメンタリーは、フィリピンのスラム街でたくましく生きる人々の姿を捉える。同国でサバイブしてきた祖母の現実的な言葉に心が揺れながら、魂の“在り方”を力強く探究する。

『わたしのゆくえ』 監督: 藤居恭平 (32歳/会社員) カラー/23分

恋しい、寂しい、また恋しい

勤務先の探偵事務所で、ある男性の調査映像を編集する孤独な女性・難波。次の休日、彼女の足は男の住むマンションへ向かっていた。繰り広げられる人間ドラマはサスペンスクラブコメカ。圧倒的な不穏さをたたえる一本。

F PFF Award 2024 9. 7 11:30~ / 9.12 16:30~小ホール

『よそのくに』 監督: 尾関彩羽 (21歳/名古屋学芸大学 映像メディア学科) カラー/9分

音と画の“対位法”で描く出会いの機微

緑豊かな丘陵を包むのは、そこにはないはずの浜辺の響き。山であり海である、この不思議な空間で初めて出会った2人の少女がリコーダーで奏でる童謡。2つの世界を入れ替えた大胆な演出が、観る者を圧倒する。

『季節のない愛』 監督: 中里有希 (22歳/東北芸術工科大学 デザイン工学部) カラー/84分

幸せになりたい2人は山に登る

それぞれ人生に傷付いてきた、同じ高校演劇部出身のノゾミとヨリコ。“あの時の約束”を果たすために山に登り、鳴らせは幸福になれるという鐘を探す。山と森を歩き続ける中年女性の姿に込めた、監督の願いが胸を打つ。

G PFF Award 2024 9. 7 14:45~ / 9.12 13:30~小ホール

『END of DINOSAURS』 監督: Kako Annika Esashi (26歳/国連職員) カラー/28分

恐竜の町で雄叫びを!

新幹線と恐竜の町・福井市に住む帰国子女のエイコは、和順な日本人に囲まれた平凡すぎる日常を漫然と生きる。アメリカ生まれの監督が、軽快で多国籍な語り口で、自身のアイデンティティーの探究をエネルギーに描く。

『サンライズ』 監督: 八代夏歌 (18歳/愛知県立丘丘高等学校 美術科) カラー/24分

高校生監督による、瑞々しい独り言

映画への夢を諦められないヤシロ。“落とすところ”を見つけようとする日々、レンズを通せば生き生きとした世界が広がる。彼女は、諦めることを諦めた。POV撮影多用で自身の内面をストレートにぶちまけた、エネルギー溢れる決意表明。

『チューリップちゃん』 監督: 渡辺咲樹 (22歳/東北芸術工科大学 デザイン工学部) カラー/18分

チューリップちゃん! レッツゴー!

ちょっと変わった小学5年生・チューリップちゃんの夢は、“孫に還暦を祝ってもらうこと”。アニメーションならではの珍妙でオフビートな演出スタイルと卓越したワードセンスで、唯一無二の世界に引き込まれる。

H PFF Award 2024 9. 8 11:30~ / 9.13 13:30~小ホール

『松坂さん』 監督: 柳野太陽 (25歳/フリーター) カラー/39分

物語の中の女性への想い

執筆中の脚本にぴったりな“グラウンドでトンボをかける女性”と出会ってしまった青年・木嶋。淡い思いは台本を抜け出して現実と呼ぶを始める。見事なキャスティングと演出で獲得した“実在感”が、観客の心を揺さぶる。

『秋の風吹く』 監督: 稲川悠司 (26歳/フリーター) カラー/63分

金なきに因する7本の映画

一貫したやるせなさに彩られた不思議な7本の短編集。アニメーション、実写映像、人形劇、活弁など、ありとあらゆる実験的な表現手法で繰り出される、独特すぎる世界観が、観客の脳味噌をぐにやりと刺激する。

Invited Works

〔招待作品部門〕

映画を観る人にも、つくる人にも、驚きと発見と喜びを13日間でお届けする6企画です。

35mmはフィルム上映、印のない作品はデジタル上映です。



生誕100年 増村保造新発見！ ～決断する女たち～

東京大学で法学と哲学を学び、イタリア留学でフェリーニ、ヴィスコンティに、そして大映では溝口健二や市川崑に師事。映画界きってのインテリにして、異色の経歴も持つ増村保造(1924-1986)。自己の欲望に忠実な登場人物たち、中でも強烈な個性の女性たちを意表を突く演出で描き、タランティーノら国内外の名だたる監督を興奮させたモダンな作風は、半世紀を経た今なお一向に色褪せません。未体験の人こそ、ぜひスクリーンで！

※印の作品は2024年7月現在配信なし。ぜひこの機会に！

『くちづけ』* 9.20 11:30~

1957年/白黒/74分
原作:川口松太郎/出演:川口 浩、野添ひとみ
拘置所で出会い、惹かれ合う若い男女。海辺で戯れ、飲み、踊り…まばゆいばかりに見えた2人の恋だったが、ある影が差す。青春をかつてなくドライに描いた鮮烈なデビュー作。

『暖流』 9.12 16:00~

1957年/カラー/94分
原作:岸田国士/出演:根上 淳、野添ひとみ、左 幸子
名作の再映画化でそのスピードと個性を知らしめる。腐敗した病院を舞台に、再建に奔走する男、看護師、院長の娘の三角関係を描き、左幸子の演技は伝説となり語り継がれる。

『巨人と玩具』* 9.17 18:30~

1958年/カラー/96分
原作:開高 健/出演:川口 浩、野添ひとみ、高松英郎
製菓会社の宣伝マンは無名の少女を利用し、競合他社に打ち勝とうとするが…。高度経済成長「前夜」の日本社会を冷やかに見つめた美術や白坂依志夫の脚本が鋭い。

『黒の試走車』* 9.12 18:30~

1962年/白黒/95分
原作:梶山季之/出演:田宮二郎、叶 順子、船越英二
自動車メーカーの熾烈な競争を描く。恋人に産業スパイを命じられた女の選択は? 本作の大ヒットで政財界をサスペンスフルに描く計11本の『黒』シリーズが作られた。

『黒の超特急』* 9.17 13:30~

1964年/白黒/94分
原作:梶山季之/出演:田宮二郎、藤由紀子、船越英二
『黒』シリーズ最終作。岡山で不動産屋を営む男は用地買収で一儲けしたのをきっかけに、新幹線開通を巡る汚職事件にのめり込んでいく。夢と欲望の昭和の傑作。

《2作品同時上映》

『動脈列島』 1975年/カラー/121分
原作:清水一/出演:田宮二郎、近藤正臣、梶 芽衣子
新幹線の転覆を目論む青年医師と敏腕捜査官の攻防を描く。国鉄を恨む背景には、騒音で亡くなった老婆がいて…。公害が社会問題化する中で製作された社会派サスペンス。

『曾根崎心中』 1978年/カラー/112分
原作:近松門左衛門/出演:宇崎竜童、梶 芽衣子、左 幸子
醤油屋の手代・徳兵衛と堂島新地の遊女・お初の叶わぬ恋の物語。男に同情して死を選ぶ原作と異なり、増村のお初は愛を貫くために死を決意する。宇崎竜童の映画初主演作。

『兵隊やくざ』 9.18 13:30~

1965年/白黒/103分
原作:有馬頼義/出演:勝 新太郎、田村高廣、淡路恵子
関東軍に入隊した新兵は元やくざの用心棒。型破りな行動で睨まれるが、大卒の古参上等兵とは奇妙な絆で結ばれる。全9作に及ぶシリーズを生んだ伝説の第一作。

『痴人の愛』 9.10 13:30~

1967年/カラー/93分
原作:谷崎潤一郎/出演:小沢昭一、安田(現・大楠)道代
谷崎の過剰な愛の物語、3度目の映画化に増村が挑戦。男の飼育下から脱し、逆襲する文学史上最も有名な少女ナオミを大楠が新たに創出。驚愕の一作となった!

『セックス・チェック 第二の性』* 9.10 16:00~

1968年/カラー/89分
原作:寺内大吉/出演:安田(現・大楠)道代、緒形 拳
「男になれ!」と厳しく指導した陸上女子選手が、性別検査で「女ではない」と宣告された。コーチは選手を“女”に戻そうと必死になるが…。爽やかさは無縁のスポーツ映画。

『盲獣』* 9. 7 17:30~

1969年/カラー/84分
原作:江戸川乱歩/出演:船越英二、緑 魔子、千石規子
盲目の彫刻家は、理想の肉体を持つモデルを監禁する。愛憎の果てに2人はより甘美な刺激を求め…。原作の現実離れした「触覚」への執着を美術の間野重雄が見事に映像化。

『女体』* 9.17 16:00~

1969年/カラー/95分
出演:浅丘ルリ子、岡田英次、梓 英子
増村が長く望んでいた浅丘ルリ子がついに主演。あて書きされた「好きになった男を弾圧し獲得していく我慢強い女」を強烈に演じる。周りを固める俳優陣、衣装も豪華。

『大地の子守歌』* 9.10 18:15~

1976年/カラー/111分
原作:素九鬼子/出演:原田美枝子、佐藤佐介、岡田英次
13歳で瀬戸内海の島に娼婦として売られた少女は、恋を失っても盲目になっても、決して人生を諦めなかった。苛酷な運命に抗う、原田美枝子の体当たりの演技に刮目せよ。

自由だぜ! 80~90年代自主映画

全国の映画研究会での8ミリフィルム映画制作熱のピーク時代につくられた傑作選。一卷3分しか撮れない8ミリフィルムで“劇場映画”をつくらうとした情熱を今こそ体験!

『高校時代から始めました』 9. 7 12:00~ 小ホール
中学生、高校生が大学生に交じって映画をつつきたい時代の逸品 監督:来場予定

『気分を変えて?』 1979年入選/カラー/30分
監督:犬童一心
出演:原 純一、長谷川 裕、池田一之
人気アイドルの解散コンサートの日、カメラを持った青年が1978年の東京の街を駆け巡る。犬童監督の高校時代の8ミリ初作品。

『教訓 I』 1981年入選/カラー/35分
監督:菅 剛(現・利重 剛)
出演:鶴田雄次郎、加瀬文照、彦坂 誠
高校の朝礼で突然、徴兵制度が宣告された。軍事教練が始まり、やがて他校との戦争まで勃発する。県人エピソードも楽しい逸品。

『The story of “CARROT FIELD”』 1983年入選/カラー/70分
監督:東山允裕/出演:浦沢一正
陸上選手と少女が織りなす幻想的な世界。運命が空へと羽ばたく独創的なストーリーに心揺さぶられる。「高校生映画」の金字塔!

『ORANGING'79』 1979年入選
カラー/25分
監督:今関あきよ/出演:三留まゆみ、田代豊一、手塚 真
懐かしい風景を歩くあのコを撮るだけで、ドラマチックになる奇跡。1979年PFFで審査員の大林宣彦監督も絶賛!

伝説の映研『立教パロディ・ユニット』 9. 7 16:30~ 小ホール
映研映画の枠を超えた意欲作に圧倒される! 活劇がここに

『この道はいつか来た道』 1983年入選/カラー/80分
監督:浅野秀二/出演:勝野 宏、塩田明彦、浜田耕作
犯罪心理学の卒論を書くために子犬誘拐企てる大学生。地元テレビ局が追う、連続通り魔事件の犯人の逃走劇に巻き込まれ…。

8ミリで超長編! 桁外れの情熱炸裂 9.15 12:00~ 小ホール
「とにかく面白い!」と、当時の審査員たちも大感動!! 監督:来場予定

『ファントム(DES FANTÔMES)』 1983年入選/カラー/124分
監督:樋口尚文/出演:太田裕己、小山登美夫、山本奈津子
高校時代の『ゲリラになろうとした男』で注目された作者の大学初作品。青春映画が怪談映画に反転する息もつけない傑作。

8ミリ超長編で描く不朽のSF恋愛譚! 9. 8 12:00~ 小ホール
渾身作で長谷川和彦監督に弟子入り。プロ並みの技量も話題に

『みどり女』 1986年入選/カラー/140分
監督:成島 出/出演:日野明子、塚磨裕子、原田文明
緑色の性器を持つ女・みどりと、彼女の虜になった3人の男の奇妙な同棲生活。緊迫感ある映像で衝撃のラストまで突っ走る!

特別上映 自主映画じゃないけれど自由だぜ! 「2本撮り」という技、「編集」という技
90年代の自由な映画づくりを象徴する2作を上映。1月に逝去した映画編集者・鈴木敬氏を偲び、黒沢清監督が登場し創作秘話を語ります。 黒沢 清 (映画監督)

『蛇の道』 1998年/カラー/85分
監督:黒沢 清/出演:袁川 翔、香川照之
娘を殺された男は謎の協力者を得て、拷問も辞さず犯人を追い詰めていくが…。2024年、舞台をフランスに移したセルフリメイクを発表。

このプログラム15作品はすべて、貴重なボジフィルムからのデジタル変換です。ここでしか観られないレアチャンスです。

8ミリ時代の終焉、最後の傑作群
奇しくも追悼プログラムとなった当時話題の3作品を一挙上映! 9. 8 16:00~ 小ホール

『ついすみか』 1987年入選/カラー/35分
監督:井川耕一郎
出演:北沢典子、飯塚裕之、萩原かおる
姉の失踪後、夜ごと男と逢瀬を重ねる妹。虚ろな会話に、執拗に肉体を捉えるショットが重なり、濃厚なエロスが醸し出される。

『悩ましき東京タワーのもとで』 1990年入選/カラー/28分
監督:計良美緒/出演:土海美幸、夏目吾郎、勝野雅美
ボーイフレンドを不器用に拒んだ17歳。優しくイラ立ち、欲望に混乱する20歳。恋の追いかけてこに主人公の感情が爆発する。

『紫の部分』 1991年グランプリ/カラー/45分
監督:計良美緒
出演:大塚千景、井土紀子、北原彩緒
映画館で働く女は、見知らぬ男に突然「臭い」と言われ、必死で下着を洗う。挿入に干す下着のような、誰の心にもある恥部の物語。

地方発映画の衝撃! 9.15 16:00~ 小ホール
愛知のpopな才能、福岡のクールなリズム、唯一無二のふたり

『ねんねこりんりん』 1981年入選/カラー/45分
監督:長谷川 久
出演:杜鹿野としあき、倉知三希子、すももも
高校卒業を機に離れ離れになったカップルは、天女の策略を乗り越え、新しい星で再会する。ポップでキュートなSFラブ・メルヘン。

『hi-lite』 1987年入選/カラー/32分
監督:墨岡雅聡
出演:墨岡雅聡、山本康晴、長沼秀幸
32分の中に十数本ものエピソードやギャグを凝縮。当時23歳の監督の日常をコミカルに投影した、心地いい一編。

『パス・アマリリス』 1988年入選/カラー/39分
監督:墨岡雅聡
出演:墨岡雅聡、山本康晴、弥生健生
ある男の“自分の音”探しの旅。何度もリフレインされる音と映像が融合し、不思議な世界が紡ぎ出されていく。

伝説となったグランプリ作品 9.10 18:45~ 小ホール
テレビ放映もされた人気作品と傑作中編のデジタル化について実現! 監督:来場予定

『灼熱のドッジボール』 1992年グランプリ
カラー/15分
監督:古厩智之/出演:清水優雅子、松島 創、仲野麻貴
夏の日の放課後。あの娘は今夜、東京に発つ。列車まであと40分…。見事な編集とカメラワークで繰る、高校生の淡く切ない別れ。

『走るぜ』 1994年招待作品/カラー/29分
監督:古厩智之/出演:波多雅子、直井徳弘
カバンを盗まれた女子高生が仲間と犯人を追いかける。山へ、海へとひた走り、いつしか立場も忘れ、ただ走ることに高揚していく。

《連動企画》 U-NEXTでも増村監督作品を特集!

永遠のミュージック・若尾文子の主演作『青空娘』『妻は告白する』『赤い天使』など、全13作品を配信中。(2024年7月現在)



『蜘蛛の瞳』 1998年/カラー/83分
監督:黒沢 清/出演:袁川 翔、ダンカン、大杉 蓮
『蛇の道』の異色姉妹編。復讐を果たし、生きる目的を失った男は殺し屋となる。だが、組織の抗争に巻き込まれ、ある決断を迫られることに。

PFFスペシャル映画講座

映画を意外な視点から楽しむことで、新たな面白さを体験。今年は3つのプログラムをご用意します。

映画のデザイン
チラシ、ポスター、パンフレット。
日本で高度に発達した宣伝美術に焦点を当てる映画講座

🕒 9. 8 日 17:30~

🎧 講師：大島依提亜 (アートディレクター)

参考上映『ナイト・オン・ザ・プラネット』
1991年/アメリカ/カラー/129分
監督:ジム・ジャームッシュ

ハリウッドの大物に乗せた若い運転手、英語を話せない運転手…。ある夜、LA、NY、パリ、ローマ、ヘルシンキを走るタクシーで起きる、5つの物語。

©1991 Locus Solus Inc.

ピーター・バラカン 音楽のある人生
毎年好評の音楽映画シリーズ。
7年目は、傑作ドキュメンタリーを日本初上映!

🕒 9.11 日 18:30~
9.20 日 13:30~

🎧 講師 (9/11): ピーター・バラカン (ブロードキャスター)

『TWO TRAINS RUNNIN'』
2016年/アメリカ/カラー/80分
監督:サム・ボラード

公民権運動の真只中、アメリカ東海岸と西海岸から2人の大学生がミシシッピ州を目指して旅立った。消えたブルース・シンガーを探して。

©Avalon Films 2017

《緊急特集》中村靖日さんを偲んで

PFFアワード1994・グランプリ作品『寮内厳粛』で中村靖日さんはスタッフとして、俳優として、現在『キングダム』シリーズで活躍する佐藤信介監督と共に会場にいた。「映画制作チームの一員」として、いつも静かに行んでいた中村さんを偲び、緊急追悼企画を行います。

《佐藤信介監督3作品上映》 🕒 9.14 日 13:00~小ホール

🎧 犬童一心 (映画監督)

『寮内厳粛』 1994年/白黒/18分
監督:佐藤信介
撮影:中村靖日
出演:石黒紀之、川野宏毅、宮本牧子

予備校の寮で、成績を上げる葉の噂が広がる。浪人生たちの長くて短い、いつもの1日。

『月島狂奏』 1994年/カラー/36分
監督:佐藤信介
録音:中村靖日
出演:千葉祐子、服部良次、中村靖日
父が入院。だけど、気になるのは父の土地!? ちくはぐな家族の小波乱を軽快に描く。

『正門前行』 1997年/カラー/66分
監督:佐藤信介
出演:内野勝就、伊藤聖子、中村靖日

脚本づくりに悩む学生がネタにしようと首を突っ込んだ盗難騒ぎ、その意外な真相。

『運命じゃない人』 🕒 9.14 日 17:00~小ホール

🎧 内田けんじ (映画監督)

2004年/カラー/98分
監督:内田けんじ
出演:中村靖日、霧島れいか、山中聡

典型的な“いい人”のサラリーマンが巻き込まれる、恋の騒動と大金絡みの大事件。

35mm

第28回 PFFスカラシップ作品

『道行き』お披露目上映

PFFが企画から公開までトータルプロデュースする長編映画プロジェクト最新作。PFFアワード2019でグランプリを受賞した『おばけ』の中尾広道監督の新作が完成しました! 奈良の古民家を舞台にした時間をご期待ください。



©2024 ひあ、ネリプロ、日法、電通、博報堂DMメディアパートナーズ、一般社団法人PFF

『道行き』 🕒 9.19 日 18:45~

🎧 中尾広道 (映画監督)、渡辺大知 (俳優)

🌐 世界初上映

2024年/白黒/80分(予定)
監督:脚本・編集:中尾広道
出演:渡辺大知、桐竹勘十郎、細馬宏通、田村壘希、大塚まさじ

真似っこ万歳!
「人生で唯一泣いた映画」への憧れを抱き続けた巨匠・スコリモフスキがついに放ったオマージュ映画。ふたつの美しいロバの物語を是非連続で

『EO イーオー』 🕒 9.18 日 16:30~

2022年/ポーランド・イタリア/カラー/88分
監督:イェジー・スコリモフスキ

20代で遭遇した『バルタザール〜』の感動が半世紀を経てこの映画を生んだ。幸せなサーカス団を出され、欧州をさまようEOの瞳に映る現実は。

『バルタザールどこへ行く』 🕒 9.18 日 19:00~

1966年/フランス・スウェーデン/白黒/96分
監督:ロベール・ブレッソン

ドストエフスキーへのオマージュとして生まれた少女とロバのバルタザールの愛の物語。寡作で知られる巨匠ブレッソンの伝説となった一作。

©1966 Argos Films - Parc Films - Athos Films - Svensk Filmindustri

新シリーズ はじまりの映画 ~創るよろこび、観る驚き~

古いけれども新しい、映画の歴史シリーズです!

《映画のはじまり 傑作選》 🕒 9.12 日 14:00~
9.13 日 14:00~

1895~1908年/白黒/パートカラー/計46分

20世紀初頭、リュミエール兄弟のシネマトグラフが映した記録映像や手づくり感満載の娯楽映画など20本の傑作短編集。9人のつくり手による驚きとユーモア溢れる46分!

『アエリータ』※サイレント上映 🕒 9.13 日 16:00~
9.19 日 16:00~

1924年/ソ連/白黒/84分
監督:ヤーコフ・プロタザノフ

妻を殺してしまった無線技師は火星に逃れ、女王アエリータと恋に落ちる。だが、同行した赤軍兵士が革命を起こし…。

35mm

《歴史的名作2作品同時上映》 🕒 9.13 日 19:00~
9.19 日 13:30~

『チェス狂』 1925年/ソ連/白黒/20分
監督:フセヴォロド・プロフキン、ニコライ・シビコフスキー

誰も彼もがチェスに夢中! 相手にされない婚約者は毒をおおろうとするが…。風刺の冴える短編コメディ。

35mm

『戦艦ポチョムキン』ショスタコービッチ版
1925年製作/1976年公開/ソ連/白黒/73分
監督:セルゲイ・M・エイゼンシュテイン

1905年に起きた水兵たちの反乱と、それに呼応した市民の虐殺を描く不滅の傑作。

35mm

『道行き』 🕒 9.19 日 18:45~

🎧 中尾広道 (映画監督)、渡辺大知 (俳優)

🌐 世界初上映

2024年/白黒/80分(予定)
監督:脚本・編集:中尾広道
出演:渡辺大知、桐竹勘十郎、細馬宏通、田村壘希、大塚まさじ

第46回ひあフィルムフェスティバル2024 タイムテーブル

*プログラムおよび来場ゲストが予告なく変更になる場合もございます。ご了承ください。

国立映画アーカイブは11時開館です。開場時間は、上映時間の15分前です。📅ごとに上映開始時間が異なりますので、ご注意ください。🎫…ゲスト来場予定/敬称略。

9.7 日	小ホール	11:30~ PFFアワード2024 『よそのくに』 『季節のない愛』	14:45~ PFFアワード2024 『END of DINOSAURS』 『サンライズ』『チューリップちゃん』	17:30~ 増村保造新発見! 『盲獣』 緑 魔子 (俳優)
	小ホール	12:00~ 80~90年代自主映画 『気分を変えて?』『教訓I』『The story of "CARROT FIELD"』 『ORANGING'79』 東山允裕、今関あきよし (映画監督)	16:30~ 80~90年代自主映画 『この道はいつか来た道』	
8 日	小ホール	11:30~ PFFアワード2024 『松坂さん』 『秋の風吹く』	14:30~ PFFアワード2024 『ちあきの変拍子』『I AM NOT INVISIBLE』『わたしのゆくえ』	17:30~ 映画講座:映画のデザイン 参考上映『ナイト・オン・ザ・プラネット』 講師:大島依提亜 (アートディレクター)
	小ホール	12:00~ 80~90年代自主映画 『みどり女』	16:00~ 80~90年代自主映画 『ついのすみか』 『悩ましき東京タワーのもとで』『紫の部分』	
9 日 休館日				
10 日	小ホール	11:30~ PFFアワード2024 『アイスリンク』 『さよならピーチ』	15:30~ PFFアワード2024 『Into a Landscape』『分離の予感』 『あなたの代わりにあなた展』	18:45~ 80~90年代自主映画 『灼熱のドッジボール』『走るぜ』 古厩智之 (映画監督)
	小ホール	13:00~ 自主映画じゃないけれど自由だぜ! 『蛇の道』『蜘蛛の瞳』 黒沢 清 (映画監督)	16:00~ 増村保造新発見! 『セックス・チェック 第二の性』	18:15~ 増村保造新発見! 『大地の子守歌』 原田美枝子 (俳優)
11 日	小ホール	13:30~ PFFアワード2024 『鎖』 『さようならイカロス』	17:30~ PFFアワード2024 『正しい家族の付き合い方』 『これらが全てFantasyだったあの頃。』	18:30~ 増村保造新発見! 『黒の試走車』
	小ホール	14:00~ 新シリーズ:はじまりの映画 映画のはじまり 傑作選	16:00~ 増村保造新発見! 『暖流』	18:30~ 増村保造新発見! 『黒の試走車』
12 日	小ホール	13:30~ PFFアワード2024 『END of DINOSAURS』 『サンライズ』『チューリップちゃん』	16:30~ PFFアワード2024 『よそのくに』 『季節のない愛』	
	小ホール	14:00~ 新シリーズ:はじまりの映画 映画のはじまり 傑作選	16:00~ 新シリーズ:はじまりの映画 『アエリータ』 ※サイレント上映	19:00~ 新シリーズ:はじまりの映画 『チェス狂』 『戦艦ポチョムキン』ショスタコービッチ版
13 日	小ホール	13:30~ PFFアワード2024 『松坂さん』 『秋の風吹く』	17:00~ PFFアワード2024 『ちあきの変拍子』『I AM NOT INVISIBLE』『わたしのゆくえ』	
	小ホール	14:00~ PFFアワード2024 『正しい家族の付き合い方』 『これらが全てFantasyだったあの頃。』	16:00~ PFFアワード2024 『Into a Landscape』『分離の予感』 『あなたの代わりにあなた展』	17:30~ PFFアワード2024 『アイスリンク』 『さよならピーチ』
14 日	小ホール	13:00~ 中村靖日さんを偲んで 『寮内厳粛』『月島狂奏』『正門前行』 犬童一心 (映画監督)	17:00~ 中村靖日さんを偲んで 『運命じゃない人』 内田けんじ (映画監督)	
	小ホール	11:30~ 増村保造新発見! 『動脈列島』『曾根崎心中』 梶 芽衣子 (俳優)	16:00~ 80~90年代自主映画 『ファントム(DÉS FANTÔMES)』 樋口尚文 (映画監督)	17:30~ PFFアワード2024 『鎖』 『さようならイカロス』
15 日	小ホール	12:00~ 80~90年代自主映画 『ファントム(DÉS FANTÔMES)』 樋口尚文 (映画監督)	16:00~ 80~90年代自主映画 『ねんねこりんりん』 『hi-lite』『バス・アマリス』	
	16 日 休館日			
17 日	小ホール	13:30~ 増村保造新発見! 『黒の超特急』	16:00~ 増村保造新発見! 『女体』	18:30~ 増村保造新発見! 『巨人と玩具』
	小ホール	13:30~ 増村保造新発見! 『兵隊やくざ』	16:30~ 映画講座:真似っこ万歳! 『EO イーオー』	19:00~ 映画講座:真似っこ万歳! 『バルタザールどこへ行く』
19 日	小ホール	13:30~ 新シリーズ:はじまりの映画 『チェス狂』 『戦艦ポチョムキン』ショスタコービッチ版	16:00~ 新シリーズ:はじまりの映画 『アエリータ』 ※サイレント上映	18:45~ 第28回PFFスカラシップ作品 『道行き』 中尾広道 (映画監督)、渡辺大知 (俳優)
	小ホール	11:30~ 増村保造新発見! 『くちづけ』	13:30~ 映画講座:音楽のある人生 『TWO TRAINS RUNNIN'』	最終日9月21日 日 に受賞作を上映 ⇒上映作品は9月20日 日 に公式サイトで発表します。
21 日	小ホール	12:00~ PFFアワード2024 受賞作上映 準グランプリ作品 含む受賞作	15:30~ PFFアワード2024 受賞作上映 グランプリ作品 含む受賞作	

